

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	服薬のダブルチェックを徹底し、誤薬や服薬忘れは減少したが、手や口からこぼれ落ちている事故報告が増加している。	確実な服薬をサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の形態の検討。</li> <li>・錠剤をこぼしやすいご利用者には、スプーンで口まで介助し、水を含む際にこぼれ落ちることがないようにしっかりと見守る。</li> </ul>	3ヶ月
2	48	レクリエーションの種類が少なく、マンネリ化している。新しいレクリエーションを取り入れ、習慣化するまで時間がかかる。コミュニケーションが苦手なスタッフやどのように関わりを持てばいいかわからないスタッフもいる。	新しいレクリエーションを取り入れ、楽しく過ごせる時間を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助が必要な方も自立の方も楽しめる簡単なレクリエーションから取り入れていく。</li> <li>・レクリエーションを通し、コミュニケーションを増やしていく。</li> <li>・レクリエーションにも個別性を取り入れる。</li> <li>・機能訓練の相替も取り入れたレクリエーションを考える。</li> <li>・季節行事に合わせたレクリエーションを考える。</li> </ul>	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。